

人文学部

広範な一般教養を身に付けると同時に、人文科学諸分野の専門知識を修得し、他者との関係への配慮や自由と責任に基づく倫理観を備えた人間を育むことを教育理念として、次のように教育課程を編成し、その内容を保証するため、共通教育科目に加え、専門教育科目として学部の特徴を生かした必修科目・選択必修科目及び学ぶ者の主体性を生かして専門性を高める多彩な選択科目を設けている。

共通教育科目では、人間の営み・言葉・人間そのもの・現代社会に対する興味を持ち、それらに関わる態度・志向性を身に付けるため、総合教養科目において人文科学・社会科学・自然科学の諸分野に関する基礎知識を学ぶと同時に、健康や身体に理解を持つため、保健体育科目を履修させる。また外国語の4技能（話す・聞く・書く・読む）をバランスよく身に付け、社会的・文化的な背景の異なる多様な人々を受け入れる柔軟性を持つため、必修科目の第一外国語に加え、第二外国語も選択必修科目としている。

専門教育科目では、1・2年次のうちに大学で学ぶための基礎的な知識・技能を修得し、発表や討論などの場におけるコミュニケーションの取り方を身に付けるため、必修科目として少人数の基礎演習・入門演習などの科目を設けている。また各専門分野の基礎的な内容を幅広く学び、その方法論を修得するため、必修科目または選択必修科目として概論・講読・研究法などの科目を設けている。

3・4年次では、各専門分野にかかる文献・資料・データを読み解いたり、社会の実相やそれらに関する言説を論理的に分析したり、発表や討論などの場において他者と協同して問題を解決したり、まとめたりする能力を育むため、必修科目または選択必修科目として少人数の演習・実習などを設けている。また学ぶ者が主体的に諸分野の専門知識を修得できるようにさせるため、選択科目として特講などの科目を設けている。

4年間の学修の集大成として、専門的な知識・方法に基づいて問題を発見し、その解明に自ら進んで取り組む態度と資料・データを客観的に分析し、成果を分かりやすく記述する能力を総合的に活用するため、必修科目または選択科目として卒業論文・卒業研究を設けている。